



3月20日から米国カリフォルニア州では「Safer at Home」という政府命令（いわゆる外出自粛要請）のもと、人の移動による感染拡大抑止のために、生活に必要不可欠なサービス以外の経済活動が停止された。食料品店や生活必需品を販売する店での買い物は入店制限が行われるため、入店の順番待ちとソーシャルディスタンスを保つために長蛇の列ができた。米国人にマスク着用の

コロナ禍の米国の旅行市場

JNTOロサンゼルス事務所 門脇 啓太 所長 ⑥4

習慣はなく、今まで日本人などアジア系がマスクを着用すると変な目で見られがちだったが、保険局の命令で、当地でも公共施設の利用や入店にあたりフェイスカバーかマスクの着用が必須になった。南カリフォルニアでは買い物袋は有料だが、店の従業員が買い物客持参のエコバックに触れて

習慣はなく、今まで日本人などアジア系がマスクを着用すると変な目で見られがちだったが、保険局の命令で、当地でも公共施設の利用や入店にあたりフェイスカバーかマスクの着用が必須になった。南カリフォルニアでは買い物袋は有料だが、店の従業員が買い物客持参のエコバックに触れて

さるようになった。ソーシャルディスタンスの観点から、人混みを避けて、通常の生活においても他人と一定間隔を取るようになり、生活様式の劇的な変化を感じた。さて、その間、旅行業については移動が制限されたり、宿泊施設も臨時休業を余儀なくされたりし

間の予約について、コロナウイルスパンデミックが始まってからと比較して7%が引き続き下がっている、29%が変わらないうと回答した半面、64%が増えていると回答している。また、4月から5月に新しく入った予約のうち41%が2020年第4四半期（10〜12月）の旅

安全性高いツアー造成模索

感染しないようにするため、買物袋が無料で提供

たので、国内旅行を含め旅行ができない状態になった。当然ながら、初めは予約のキャンセルが相次いだ

行であり、21年の第1四半期が51%、第2四半期が71%、第3〜4四半期が63%との回答で、国内旅行29%に対し、海外旅行はこれら予約の71%を占めるという結果を見ると、このような状況下で

米国人の旅行に対しての思いは強いと言える。USTOAは会員に対してコロナウイルス禍での旅行を安全に実施する



オフィスビル内に示されたソーシャルディスタンスのマーク（ロサンゼルスで）

が、6月24日に発表されたUSTOA（全米ツアーオペレーター協会）の会員に実施した旅行予約に関するアンケート結果によると、過去30日

また、4月から5月に新しく入った予約のうち41%が2020年第4四半期（10〜12月）の旅

ための共通ガイドラインを作成しているが、その中でも強調されているのは、フェイスカバーやマスクをすること、ソーシャルディスタンスを取るということである。ツアーオペレーターの商品造成担当者らはCDC（アメリカ疾病予防対策センター）や世界各国の感染対策ガイドラインに沿った新たなランド手配内容の詳細や、各観光地においてどのような衛生対策が取られているかといった具体的な情報を今後のツアー造成の準備や販売のために必要としている。今後は衛生対策が徹底され、かつ人混みを避けることができる、ソーシャルディスタンスが取れるような旅行形態、すなわち安全や清潔が保証されることが旅行商品造成の際の最重要事項になる。（月一回掲載）